

「市民の宝」さくらカードを改悪しないで!

無料パス券に

「作業所に通い1カ月15,000円ほどの工賃です。1割負担になって、とても負担が重く、生活がきびしくなりました。無料のパス券に戻してほしい。」

70歳になるのが楽しみ

「70歳になって、さくらカードをもらうのが楽しみにしてきました。それを目の前にして、改悪が検討されていると聞き残念。見直しというならば、もっと良くしてほしい。」



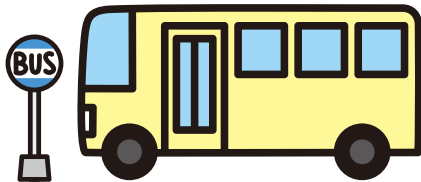
幸せが高まる

「さくらカードは、メリットはあってもデメリットはない制度。どれだけ社会に貢献しているかを言わないといけない。行動すれば、幸せが高まる。それを考えると、無料にしてもいいくらい」

市民に愛され23年
たくさんの喜びの声が

効果は抜群
経済効果は30億円

買い物・通院・各種手続き・趣味等などに利用され、市のアンケートでも、「よく歩くようになった」との声が65%もあり、家計負担の軽減・公共交通機関の利用促進・健康・生きがいづくりに役立つという結果が示されています。6億6,000万円の事業費で、経済効果は30億円です。効果抜群の制度です。



「見直し」というなら
利用促進に努めるべき

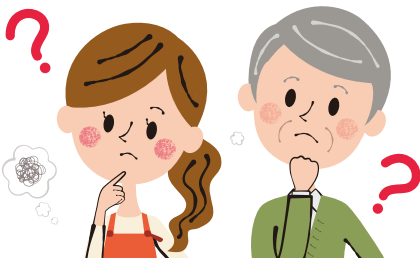
今年4月から、見直しの検討委員会が始められ、10月までには方向が出されようとしています。

しかし、市がすすめる見直しは「制度の対象範囲や所得制限、利用額の設定」である、行財政改革計画に記載されています。何らかの方向で利用制限しようという狙いです。数ある市の制度の中でも、格段に評価の高いさくらカードは、改悪せずに利用促進にこそ努めるべきです。

「熊本城ホール」には450億円のムダづかい

月に数日しか使われない
メインホール

2019年12月開業予定ですが、初年度、メインホールは、月1〜2日しか使われません。一般的に学会等の開催準備は2年ほど前から始まります。開業まで2年を切っており、初年度に大型コンベンションを今から誘致するのは厳しく、稼働率目標6割に届く見通しはありません。



コンサートでは
経済波及効果も下がる

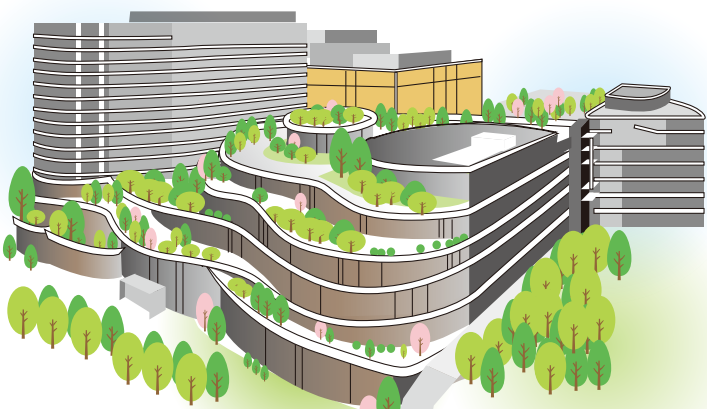
コンサートでは、MICEのような経済波及効果は見込めません。このままMICE誘致が進まなければ市が予測する経済波及効果にはつながりません。再開発事業への助成まで含め450億円もの税金をつぎ込む事業として、その費用対効果が問われます。

市民が利用できない施設

熊本城ホールの使用料は、市民会館の4倍、土日に終日使用すれば131万円もかかります。市民が気軽に借りられる施設ではありません。

市民の理解は得られない

多額の税金を投入しながら、市民が気軽に利用できず、費用対効果も危ぶまれる大型開発。熊本城ホール整備に、市民の理解は得られないのではないのでしょうか。



桜町再開発・熊本城ホール

日本共産党

2018年8月(夏の号)

熊本市議団 市議会だより

発行: 日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp ホームページ: 共産党 熊本市議団 検索



上野みえこ



なすまだか



やまべひろし

